

番号	58		令和7年度七生特別支援学校年間指導計画			
学 部		中学部		学 年	2年	
教科等名		美術		グループ名	学年	
ねらい		・表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付ける。 ・身近にある造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を広げることができる。 ・創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育む。				
担当教員		○鷲尾 圭介 三橋 淳輝 桐山 知行 杉内 勝 桑原 真明 大出 彩乃 小川 世椰 大内 彩加 須澤 朗人				
年間授業時数		71.6				
使用教科書		偕成社「うつくしい絵」				
月	単元(題材)名	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)		指導の工夫
通年	美術に関する鑑賞	○	<鑑賞> ・外国の作品を鑑賞する。 ・友達の作品を鑑賞する。	・鑑賞を通して、他国の文化への興味や関心をもつ。 ・日本や外国の美術作品を鑑賞し、多様な芸術文化に触れ、違いを見付けることができる。 ・友達の作品の良さに気付くことができ、他者を評価できる。		・作品のよさが分かる提示方法を工夫する。 ・生徒の関心に合うビデオ教材を準備する。 ・タブレット端末で美術作品のスライドショーを作成し示す。
	画材や道具の使いを知ろう	○	・画材の特徴を知る。 ・道具の使い方を知る。 ・画材の使い方を制作しながら学ぶ。	・道具の使い方を知り正しく使用することができる。 ・学習や生活の中で道具を活用することができる。		・様々な画材や道具を準備し、試せるようにする。
4	四季の絵を描こう		<絵画> ・四季が味わえる絵の制作	・四季の特徴を知る。 ・四季を表現する画材や色を考えることができる。 ・四季を平面で表現できるように、意欲的に制作に取り組むことができる。		・季節を表す行事などの写真を用意し、生徒の興味・関心を引き出す。 ・モデリングのほか手順表を用意する。
5 6	いろいろな色を知ろう	○	<色彩> ・色の種類や特性を知る。 ・混色をして色の数を増やす。	・多様な色の名前を知る。 ・色を混ぜて、別の色を作ることができる。 ・複数の色を混ぜることで、色の変化を楽しむことができる。		・タブレット端末の色彩アプリを活用する。 ・色の変化は、目の前で手本を示す。
6 7	コマ撮りアニメを作ろう	○	<立体表現・デザイン> ・様々な道具を使用した表現を知る。	・色々な道具の使い方を知る。 ・自由な発想を、カメラを使い表現することができる。 ・より良いものを作る意識を培う。		・コマ撮りアプリを活用する。 ・参考作品のほか手順表を用意する。
9 10	陶芸粘土で花瓶を作ろう		<彫塑> ・粘土の感触を知る。 ・粘土をこねる。 ・たたら板や麺棒の使い方を知る。	・粘土の肌触りを感じ、感触を確かめる。 ・身体全体で粘土をこねる動きと、粘土の変化の仕方の違いに気付くことができる。 ・作品の完成度を高める意識を培う。		・タブレット端末で陶芸の作品例を示す。 ・補助具を使い模様を描きやすくする。
11	学習発表会の準備をしよう		<立体表現> ・学習発表会で使う背景や大道具、小道具を制作する。 ・展示見学、準備、片付け	・学習発表会のイメージをもつ。 ・発表会のイメージに合う道具を考えて、制作する。 ・舞台を美しく飾ることで、美術を愛好していく心情を培う。		・過去の動画や写真、参考例を用意し、イメージがもてるようにする。
12 1	季節を表現しよう		<立体表現> ・四季が味わえる飾りの制作をする。	・四季の特徴を確認し、発表できる。 ・四季を表現する画材や素材を考えることができる。 ・四季を立体で表現できるように、意欲的に制作に取り組むことができる。		・季節の行事の写真を用意し、興味・関心をもてるようにする。 ・モデリングのほか見本を用意する。
1 2	墨で絵を描こう		<絵画表現> ・墨によるにじみの表現を知る。	・毛筆に親しみをもち、日本の伝統文化を知る。 ・友達の作品を見て、自分との違いや良いところに気付くことができる。 ・日本の伝統的な技法に、興味・関心をもって取り組むことができる。		・タブレット端末で水墨画の作品例を示す。 ・画材は生徒が扱いやすい厚めの紙を用意する。
2 3	版画で表現しよう 共同作品を作ろう		<版画> ・バレンやローラーなどの、道具の使い方を理解して表現する。 <共同画> ・イメージを膨らませたり、自由な発想で描く。	・版画の制作の工程を理解し、作品を作ることができる。 ・刷り上がった作品に期待感をもち、制作できる。 ・画材の使い方を学ぶ。		・活動ごとに場所を分けて分かりやすくする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。